

## 資料 2

「疾病、傷害及び死因分類」(ICD) 専門委員会及び「生活機能分類」(ICF) 専門委員会の動向等について

○ ICD 専門委員会

日本医学会等の協力を得て各学会から約 30 名程度の参加を依頼中。

(別紙：「最近の ICD の動向について」を参照)

○ ICF 専門委員会

学者・研究者、専門職、当事者、行政経験者から約 10 名程度の参加を依頼中。

### 今後の開催予定

両委員会とも 7 月目途の開催予定。

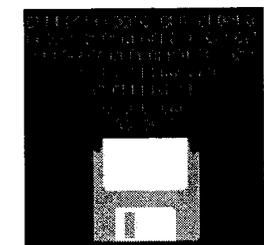
# 最近のICDの動向について

(WHO公表資料より抜粋)

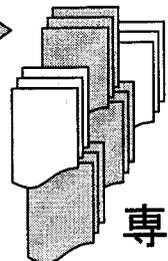
# HISおよびITを用いたWHO分類

HIS:保健情報システム

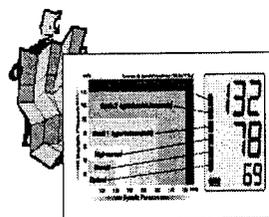
IT:情報技術



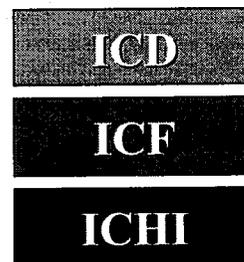
電子保健  
記録システム



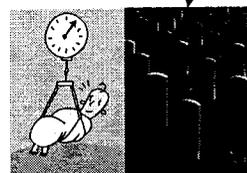
専門用語



マッピング



分類



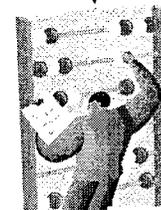
国の保健業務

- 出生
- 死亡
- 疾病
- 障害
- リスク要因



臨床業務

- 意思決定支援
- ケアの統合
- 結果



管理業務

- 日程計画
- リソース
- 会計処理



報告業務

- コスト
- ニーズ
- 結果

# ICD改善アプリケーション

ICD知識ポータルの一環として、

三つの主要アプリケーションを構想：

1. **ICD-10+アプリケーション**  
(ICD-10のままの一部改正)
2. **ICD-11草案作成**
3. **(ICD用語／オントロジーツール)\***

\*恐らくは表示のみ、直接的なWEB入力はなし

# ICD改訂プロセス

- 規則の起草
  - 分類ガイドライン
  - 定義・診断・索引化／マッピング・ガイドライン
- 全体構造の設計
- 各章の起草
- ICD全体の監督
  - アルファ草案－体系的な意見
  - ベータ草案－フィールド・テスト
- 最終草案
  - WHA(世界保健総会)による承認  
(World Health Assembly)

# 改訂作業ストリーム

## 1. 科学ストリーム

- エビデンスに基づくレビュー
- 調査
- 検証研究
- 既存研究のアドオン・プロトコル
- メタ分析

## 2. 臨床ストリーム

- 臨床実用性－患者報告とのリンク
- 治療反応
- 表現型：性状形態に対する遺伝子

## 3. 公衆保健ストリーム

- 保健制度－社会－サービス提供への影響
- リソース管理－補償－会計処理
- ITアプリケーション－用語体系

# 改訂プロセスの構造

